

(平成29年度分)

団体名	神戸国際大学防災救命クラブ (DPLS 部)		
			
			

昨今自殺や残酷な殺人事件、親が子どもを殺したり、また逆に子が親を殺したりという事件が多く発生している。たった一つしかない掛替えのない命を大切にする社会になれば、このような痛ましい事件が少なくなるのではないかと考え、神戸国際大学の DPLS クラブの学生たちは、たった一つしかない命を救う最後の手段である救急法の普及活動を通じて、広く市民に命の大切さを理解してもらうことを期待して、この活動を行った。

活動の実施方法は、定期的に本学で一般市民や学生を対象に救急法講習会を実施しているほか、要請に応じて子供達や企業（介護施設職員）へ出前で救急法講習会を行った。実施内容は、修了証の発行できる3時間の講習会や、市民に AED や心臓マッサージの啓発を主とする目的で短時間の使用法や実技を行った。

活動で得られた成果は、一般市民に対し救急法の指導を行うことで市民が心臓マッサージや人工呼吸、AED の取り扱いについて知識を得ることができたと考える。また、DPLS 部員に対しても今回貴財団から提供された機材を使用し講習会前の部会等において救急法実技の復習等を行うことで、心配蘇生法や AED の技術維持や向上に繋がったと考えている。

機材を提供して頂き3年間に過ぎたが、今後も救急法普及活動を通じていのちを大切にする社会づくりに貢献して行きたいと考えている。

平成27年度提供機材を使つての講習実施者数は262人、平成28年度272人、平成29年度284人であり、今後も継続して行っていく予定である。